

令和 4 年度 施策評価表

第 6 章 『自然と調和する住みよいまち』

まちづくりの目標	まちなかにみどりがあふれ、そこに人々が集い、思わず歩きたくなる、自然と調和した安全で住みよいまちをめざします。
分野別計画・指針	所沢市都市計画マスタープラン、所沢市ひと・まち・みどりの景観計画、所沢市住生活基本計画、所沢市マンション管理適正化推進計画、所沢市中心市街地街並み整備計画、所沢駅周辺まちづくり基本構想、所沢駅周辺ランドデザイン、所沢市建築物耐震改修促進計画、所沢市橋梁長寿命化修繕計画、所沢市水道ビジョン、所沢市水道事業経営計画、所沢市下水道事業経営計画、市街化調整区域下水道整備基本計画、所沢市生活排水処理基本計画、所沢市営住宅等長寿命化計画

第 1 節	土地利用
関係所属	都市計画課、市街地整備課、企画総務課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「土地利用」 地域の特性を活かし自然と調和した街づくり(土地利用)が進められている	445	18.3%	216	8.9%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	土地利用に関する施策の満足度	%	-		18.3	-	65

事業目標の達成状況		基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-1-1	計画的かつ合理的な土地利用の推進	土地利用転換の達成地区数	地区	0	2	1	×	2	
6-1-2	所沢らしい景観まちづくりの推進	とことろ景観資源の指定件数	件	196	205	227		215	
6-1-3	基地返還と跡地利用の促進	基地返還に関する要望実施件数	件	2	3	2	×	3	

節の基本方針への取り組み状況

<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>旧暫定逆線引き地区のうち3地区(北中地区・上山口地区・牛沼地区)について用途地域を廃止した。(R3.4.1告示)</p> <p>組合施行により土地区画整理事業を実施中の北秋津・上安松地区、若松町地区について、道路や調整池などの公共施設の整備に対する組合への支援を行った。また、北秋津地区について緑地保全のための土地利用計画の見直し等の調整を行った。</p> <p>組合設立による土地区画整理事業の実施を予定している下安松東地区について、都市計画変更に係る関係機関との協議を進めた。</p> <p>土地利用推進エリアのうち三ヶ島工業団地周辺地区について、土地区画整理事業に係る組合準備会による測量、環境影響評価にかかる調査・予測等の実施に対する支援を行うとともに、事業予定区域内を通る上藤沢・林・宮寺間新設道路(2工区)の用地取得を推進した。</p> <p>土地利用推進エリアである関越自動車道所沢IC周辺地区について、地元説明会、地権者への意向調査、地元発起人会への技術的支援を行った。</p> <p>ゆとりある敷地設定によるまちなかみどりの充実を図るため、住居系の用途地域内で行う500㎡以上の開発行為等に伴う最低敷地面積の基準について、令和4年12月から100㎡から120㎡へと引き上げることとし、広く周知を行った。</p> <p>景観施策については、「ひと・まち・みどりの景観計画」の策定(平成23年)から10年を迎えることなどから、景観審議会において改定について議論を行ったほか、景観資源の登録手続きを着実に進めた。</p> <p>防衛施設周辺整備全国協議会、埼玉県基地対策協議会を通じて米軍所沢通信基地の返還を要請した。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>基地返還に関する要望実施件数の目標未達成は、新型コロナウイルス感染症の影響で、所沢市基地対策協議会が通常の活動をできなかったことが一因である。</p>
--

今後の方向性

「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

旧暫定逆線引き地区について

土地区画整理事業を行って市街化区域編入を目指す下安松東地区については、関係機関との協議を整えて都市計画変更の手続きを進める。また、上安松・下安松西地区については都市計画の変更に係る関係機関との協議を進める。

土地利用推進エリアについて

産業系土地利用を進める三ヶ島工業団地周辺地区については、関係機関との協議を整えて都市計画変更の手続きを進める。また、関越自動車道所沢IC周辺地区については、土地利用基本構想の検討や関係機関との協議、準備組合設立に向けた地権者などへの技術的支援を行う。

景観計画の改定については、新たな景観ゾーンや景観拠点の創設、大規模倉庫等に対する色彩基準の創設等を含む色彩基準の更新などについて、引き続き景観審議会での検討を進める。

米軍所沢通信基地の全面返還の早期実現を目指して、今後も引き続き要望活動を行う。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

施策の満足度向上については、令和2年3月に策定した都市計画マスタープランに基づくコンパクト・プラス・ネットワークの街づくりに向けて、立地適正化計画の策定に向けた検討を進める。

土地利用転換の達成に向け、下安松東地区・三ヶ島工業団地周辺地区については令和5年度内の市街化区域編入を目指し、引き続き関係機関との協議を行う。

地域公共交通計画(令和4年度策定予定)に基づいて地域の生活の足である公共交通の充実を図るとともに、立地適正化計画(令和5年度策定予定)によりコンパクトで機能的な土地利用を図ることを通じて、都市計画マスタープランに掲げる将来都市像の実現を目指す。

米軍所沢通信基地の返還要望については、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、所沢市基地対策協議会と調整しつつ進めていく。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R4.7.29	記入者職氏名	経営企画部次長 柳田 晃芳 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部街づくり計画担当参事 塩崎 雄 街づくり計画部土地利用推進担当参事 強矢 賢
-----	---------	--------	---

第2節	市街地整備
-----	-------

関係所属	市街地整備課、所沢駅西口区画整理事務所、都市計画課、建築指導課
------	---------------------------------

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「市街地整備」 所沢駅周辺をはじめとしてにぎわい創出に向けた整備が進んでいる	1,151	47.2%	336	13.8%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	所沢駅の1日平均乗降客数	人	102,732	109,000	86,613	×	114,000

事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-2-1	所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進	事業地区を含む周辺の居住人口(御幸町・東町・日吉町・東住吉)	人	6,594	7,793	7,907		7,800
6-2-2	安心・安全に暮らせるまちづくりの推進	土地区画整理事業による防災性能の向上を進める面積	ha	169.1	230	220.9	×	290
6-2-3	市街地整備の適正な誘導(良好な市街地整備の推進)	地区計画・建築協定等の策定地区数	地区	37	40	38	×	44

節の基本方針への取り組み状況

前年度の取り組み状況に対する振り返り
街なかのパブリックスペースなどを活用しながら官民が連携して街づくりを進めるためのビジョンである「所沢駅周辺グランドデザイン」を策定し(令和4年3月)、街づくりの方向性やエリア別のイメージと取組などについて、市民、事業者、行政などの街に関わる人々の間での共有を図った。
所沢駅西口土地区画整理事業地内において、歩行者が安心・安全に通行できる歩道のある区画道路を開通させた。また、県道久米所沢線の歩道の一部を拡幅整備した。
人を中心としたまちづくりの実現に向け、所沢駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの設計や所沢駅西口駅前広場の再整備について検討を進めた。
鉄道の地下で立体交差する所沢駅ふれあい通り線について、道路用地の一部を取得した。
北秋津・上安松土地区画整理事業や若松町土地区画整理事業について、組合による道路や調整池などの公共施設の整備に対する支援などを行った。
旧暫定逆線引き地区である下安松東地区、土地利用転換を目指す三ヶ島工業団地周辺地区について、市街化区域編入と合わせて防火・準防火地域や地区計画を指定する都市計画の変更にあたって関係機関との協議を行った。
地区計画については、住民で構成される協議会に対して街づくりアドバイザーを派遣するなどの支援を行った。椿峰地区については地域住民の意識を醸成するためのシンポジウムを開催するとともに、地区計画の都市計画決定までの大まかなスケジュールについて、関係者間で合意を得た。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
所沢駅の1日平均乗降客数が目標値を大きく下回った大きな要因は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。
市街化区域編入による土地区画整理事業の実施、防火・準防火地域や地区計画の指定を目指す下安松東地区、三ヶ島工業団地周辺地区について、農林調整などの関係機関との協議に時間を要し、都市計画の変更や事業の着手が遅れ未達成となった。
地区計画・建築協定等の策定地区数について(地区計画22地区・建築協定14地区・街づくり協定2地区):地区計画については、新型コロナウイルス感染症の影響などにより協議が進まず合意形成に時間を要していることから新たな指定に至らず、地区数を増やすことができなかった。建築協定については、有効期間の到来に伴う更新のための関係者の協議が整わず地区数が減少した。

今後の方向性

「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
「所沢駅周辺グランドデザイン」に基づいて、社会実験の実施や街づくりの担い手の活動支援、官民連携体制の構築に向けた取組を進める。
所沢駅周辺のにぎわいの創出を図るため、歩行者が安心・安全に通行できる道路の整備を進めるとともに、民間開発による広域集客型商業施設に所沢らしさを求めて行く。
人を中心としたまちづくりの実現に向け、所沢駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの整備や所沢駅西口駅前広場の再整備を進める。
所沢駅東西市街地の一体化や駅周辺の交通渋滞の緩和を目的とした所沢駅ふれあい通り線の築造を進める。
北秋津・上安松土地区画整理事業や若松町土地区画整理事業について、引き続き、組合による道路や調整池などの公共施設の整備に対する支援などを行う。
旧暫定逆線引き地区である下安松東地区、土地利用転換を目指す三ヶ島工業団地周辺地区について、市街化区域編入と合わせて防火・準防火地域や地区計画の指定に向けて、都市計画変更の手続きを進める。
地区計画等については、地域の協議会に対して案の作成を支援し、必要な手続きを進める。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
時間を要していた農林調整などの関係機関との協議を早期に整えて、都市計画変更の手続きに着手する。
地区計画等については、引き続き、地域の協議会に対して街づくりアドバイザーの派遣などの支援を行っていく。

SDGsへの貢献		
	1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に	レ 15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も	レ 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
評価日	R4.7.29	記入者職氏名 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部街づくり計画担当参事 塩崎 雄 街づくり計画部土地利用推進担当参事 強矢 賢 街づくり計画部建築指導担当参事 保坂 貞夫 街づくり計画部所沢駅西口区画整理担当参事 工藤 順一

第3節	道路
関係所属	建設総務課、道路建設課、計画道路整備課、道路維持課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「道路」 所沢市内の道路環境は整備されている	721	29.6%	620	25.4%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	充実した道路環境を要望する人の割合	%	56.2	現状値未滿	29.6		現状値未滿

事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-3-1	道路整備の推進	都市計画道路の整備状況	%	70.5		72.3		72
6-3-2	幹線道路の建設推進	幹線道路(バイパス)の整備状況	m	0		433	-	1,679
6-3-3	生活道路の整備推進	生活道路拡幅整備延長	m	—		145	-	4,000
6-3-4	歩行者・自転車環境の整備推進	自転車レーンの整備延長	m	770	7,494	5,525	×	12,294
6-3-5	道路環境の維持	橋りょう長寿命化修繕の箇所数	橋	2	1	1		1

節の基本方針への取り組み状況

前年度の取り組み状況に対する振り返り
都市計画道路北野下富線の用地取得並びに工事を進めた。
県施行による都市計画道路飯能所沢線の建設促進を図った。
自治会等の要望を基に、歩行者の安全性や交通の利便性等の向上を図るため、市道2-374号線における約121メートルの拡幅整備と市道1-889号線における約24.5メートルの階段築造整備を行った。また市道4-1386号線における築造の用地取得及び市道2-996号線における歩道用地の取得を行った。
前年度実施できなかった自転車レーンの整備を行い、計画的に自転車レーンを設置していく。
橋りょう長寿命化修繕計画に基づき松戸橋の修繕工事を実施したほか、JR武蔵野線を横断する跨線橋(606号橋・609号橋)2橋について、法定点検を実施するなど、橋りょうの維持管理に努めた。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
限られた予算の中で検討した結果、令和3年度は、要望の多かった第1節第3章「交通安全」の道路安全施設整備事業(カーブミラー新規設置)に重点を置いたため、自転車レーンは次年度に見送った。

今後の方向性

「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
都市計画道路北野下富線、松葉道北岩岡線の早期供用に向けて整備を進める。
本市の外環状道路の一翼を担う都市計画道路飯能所沢線の全線供用に向けて建設促進を図る。
安全面や防災面において課題がある道路では、歩道整備及び拡幅整備等を推進していく。
自転車利用を推進するため、近隣市町村及び埼玉県の自転車レーン設置状況を参考にし、自転車ネットワーク計画を策定していく。
法定定期点検の結果に基づき、対象となる橋りょうを最優先に、予防保全の観点から修繕工事を実施していく。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
単年度ごとの整備延長を伸ばし、令和6年度の目標値が達成できるように計画を設定する。

SDGsへの貢献	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	レ 16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ 9 産業と技術革新の基盤を作る	

評価日	R4.7.29	記入者職氏名	建設部次長 吉田 進一
-----	---------	--------	-------------

第4節	交通政策							
関係所属	防犯交通安全課、都市計画課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「交通政策」 所沢市は鉄道・バス路線が充実していて出掛けやすい			933	38.3%	469	19.2%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	交通について不便と感じる人の割合		%	-	41	19.2		35
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-4-1	交通政策の推進と公共交通の充実	市内の地域公共交通(バス)年間利用者数	千人	10,734	10,774	8,117	×	10,804
6-4-2	鉄道輸送の利便性向上	市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数	千人	413	423	334	×	429
6-4-3	駅の安全性・利便性の向上	西所沢駅西口改札口開設事業の進捗度			設計	協議中	×	R5で開設
節の基本方針への取り組み状況								
<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>新たな公共交通であるところワゴン(乗合ワゴン)の実証運行を三ヶ島地区で開始した。「若狭・三ヶ島」「林・糎谷」の2ルートの年間合計利用者数は18,169人で、目標28,270人の64.3%となった。また、乗降実績等を踏まえ、運行ルートの見直しに向けて検討を進めた。</p> <p>ところワゴンの新規ルートを令和4年度以降に導入するため、柳瀬地区ではルートの確定について手続きを進め、富岡地区では地域へのアンケートの実施等によりルート案の作成等の取組を進めた。</p> <p>地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿を明らかにするため、地域公共交通のマスタープランとなる地域公共交通計画の策定を進めた。</p> <p>「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区及び所沢市で構成)」において、各市の取組状況について情報交換を行うとともに、埼玉県及び東京都に対して要望活動を実施した。</p> <p>西所沢駅西口開設については、改札口の整備に向けて鉄道事業者と協議を重ねるとともに、改札口開設における交通混雑の緩和を図るための転回広場の修正設計を行った。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>地域公共交通(バス)と鉄道の利用者数が目標値を大きく下回った大きな要因は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。</p> <p>西所沢駅西口開設については、鉄道事業者と基本協定が締結できなかったため、基本設計に着手できなかった。</p>								
今後の方向性								
<p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>ところワゴンについては、令和3年度から開始した三ヶ島地区の実証運行ルートを改善し、利用者の増加等運行指針の目標達成を目指す。また、柳瀬地区・富岡地区における実証運行の開始に向けて地域住民との調整、運行ルートの確定や運行体制の整備を進める。</p> <p>ところバスについては、ところワゴンの実証運行を踏まえた運行ルートの見直しを行うほか、利用実績やアンケート調査等を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を進める。</p> <p>地域公共交通計画については、施策の方向性を検討・整理し、令和4年度中に策定する。</p> <p>西所沢駅西口開設については、改札口の整備に向けた鉄道事業者との基本協定を早期に締結するとともに、開設に向け、駅前広場等の周辺整備を含めた調査・設計等の作業を進める。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>公共交通については令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少が予想されるが、引き続き、地域の方が利用しやすい地域公共交通ネットワークの充実・整備を進める。</p> <p>西所沢駅西口開設に関する基本協定の早期締結に向け、鉄道事業者と協議を行う。</p>								

SDGsへの貢献		
	1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
レ	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
評価日	R4.7.29	記入者職氏名 市民部次長 田中 政美 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部街づくり計画担当参事 塩崎 雄

第5節	水道
関係所属	総務課、経営課、給水管理課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「水道」 所沢市は安全な水を安定して供給している	1,543	63.3%	243	10.0%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	水道事業に関する施策の満足度	%	-	100	63.3	×	100

基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-5-1	経営基盤の強化	資産の有効活用による収益額	万円		1,183	1,726		1,369
6-5-2	水資源の確保と有効利用	地下水の揚水量	万 ³ /年	412	350	453		350
6-5-3	安全な水の安定供給	配水池の耐震化率	%	71.7	95.1	95.1		100
6-5-4	更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践	経常収支比率	%	110	110	111.3		110

節の基本方針への取り組み状況

前年度の取り組み状況に対する振り返り
旧水道庁舎用地の貸付及び未利用地の売却を行うとともに、長期的債券(JICA債・TICAD債)による運用等により自主財源の確保に努めた。安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、水道管を1,321m布設し、7,506mを更新した。地下水の揚水量については、前年度と比較して配水量が微減にとどまったことにより、揚水量も高い水準を保っている。配水池の耐震化については、継続事業であった西部浄水場2号配水池の耐震補強工事が終了したことにより、計画を達成した。経常収支比率については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、経済的な支援策として実施した、2か月分の水道料金免除により、目標を下回ったが令和3年度に策定した「所沢市水道ビジョン」及び「水道事業経営計画」に基づき、一層の効率化と経営基盤の安定化を推進したことにより、目標を達成した。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
施策の満足度は未達成で、昨年度より下降した(64.6% 63.3%)。これは令和2年度に新型コロナ緊急対策として水道料金の減免などを実施したため、令和3年度にそのような対策がなされなかったのが下降した要因だと考えられる。しかし、水道管のクリーンアップ、老朽管の更新により、安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築しており、市民満足度の施策順位は引き続き第1位と、高い評価を得られている。

今後の方向性

「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
持続可能な水道の事業経営を目指し、安全で良質な水道水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、水道管の布設・更新工事、配水池等の耐震工事などを進め、強靱な水道を構築する。
経常収支比率については、自主財源の確保を確実に進めるなど引き続き、経営努力を行っていく。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
満足度については、局の広報誌等による情報発信を引き続き行い、事業に対する市民への理解を深めるとともに、各事業を確実に実施することで数値のさらなる向上を目指す。

- SDGsへの貢献**
- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナースhipで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |

評価日	R4.7.29	記入者職氏名	上下水道局次長 松山 幹明
-----	---------	--------	---------------

第6節	下水道								
関係所属	総務課、経営課、下水道維持課、下水道整備課								
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度				
「下水道」 生活環境面で下水の処理に満足している		1,366	56.1%	242	9.9%				
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	下水道事業に関する施策の満足度		%		100	56.1	×	100	
事業目標の達成状況									
基本方針		事業目標		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-6-1	自主財源の確保	有料広告用デザイン入りマンホール蓋の設置箇所数(累計)		箇所	10	40	61.0		70
6-6-2	生活環境の改善と公共用水域の水質保全	下水道普及率		%	93.7	94.5	95.1		94.8
6-6-3	災害に強い下水道整備の推進	道路雨水樹の浸透化数(累計)		箇所		480	570		840
6-6-4	下水道施設の計画的な老朽化対策	下水道管渠の更生・布設替工事延長(累計)		m	214	1,588	1,411	×	3,728
節の基本方針への取り組み状況									
<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り イルミネーションマンホールを含めたマンホール蓋広告事業については、自主財源の確保のみならず、下水道のイメージアップや民間とも連携した新たな地域づくりや魅力発信に繋がるツールとして、成果を挙げている。 「第1次市街化調整区域下水道計画」に基づき、第4期整備事業として污水管を7,278m布設した。 災害に強いライフラインを構築するため、人孔3か所の耐震化工事を行った。 市内各所で発生している内水被害を軽減させるため、既存の雨水樹210か所を浸透化した。 計画的な施設の点検・調査及び修繕・改築を行う「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、下水管の更生を230m、管内カメラ調査を30km行った。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析 施策の満足度は昨年度と比較し下降(57.4%→56.1%)しているが、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を計画的に進めており、新たに下水道整備された地区の方々より、満足度は得られている。 下水道施設の老朽化対策については、他の地下埋設物の撤去等が発生し、年度内の完成が困難となった。</p>									
今後の方向性									
<p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 生活環境の改善と公共用水域の水質保全に貢献するため下水道整備を進めるほか、下水道施設の耐震化や老朽化対策に取り組むとともに、大雨による浸水被害の軽減対策を進める。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 下水道に関する満足度がさらに上昇となるよう、各事業の実施に向け取り組む。 老朽化対策工事は、早期発注に努め、目標達成に向け取り組む。</p>									
SDGsへの貢献									
1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう							
2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを							
3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任							
4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を							
5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう							
6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう							
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に							
8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう							
9 産業と技術革新の基盤を作ろう									
評価日	R4.7.29	記入者職氏名	上下水道局次長 松山 幹明 上下水道局下水道整備担当参事 根岸 清						

第7節	住宅・住環境								
関係所属	都市計画課、建築指導課、市街地整備課								
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「住宅・住環境」 地域の街並みなどの住環境に満足している			1,170	48.0%	298	12.2%			
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	住宅・住環境に関する施策の満足度		%		67.0	48.0	×	68.5	
事業目標の達成状況									
基本方針		事業目標		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-7-1	安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進	長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数		件	280	250	357		250
6-7-2	適正な公営住宅の管理・運営	市営住宅の入居戸数		戸	773	781	701	×	787
6-7-3	住生活の安定と質の向上	マンション管理無料相談会における相談受付件数		件	19	31	30	×	42
節の基本方針への取り組み状況									
<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り 長期優良住宅278件及び低炭素建築物79件の計357件について認定を行い、目標値を達成した。 市内の住宅等の耐震化を図るため、一戸建て住宅の耐震診断4件及び耐震改修1件のほか、分譲マンション(119戸)の耐震診断1件に対して補助金を交付した。 市営住宅については所沢市営住宅等長寿命化計画を策定して全棟の修繕計画を整理した。その中では、建築年次が古く、建て替えも選択肢として検討すべき住宅団地抽出した。 市営住宅退去者の家賃等の滞納について、回収が極めて困難である事案の不納欠損処理を行った。 「所沢市マンション管理適正化推進条例」を制定し、管理組合に対する管理状況の届出の義務付け、新築マンション分譲事業者に対する長期修繕計画等の届出の義務付けを行った。 分譲マンションに対する実態調査を通じて管理状況を把握し、マンション管理適正化施策を総合的かつ効果的に実施するための「所沢市マンション管理適正化推進計画」を策定した。</p>									
<p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析 住宅・住環境に関する施策の満足度の未達成については様々な要因が考えられるが、要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響によってより広い住まいへのニーズが高まっていることなども考えられる。 市営住宅は老朽化した建築物が多く一戸当たりの修繕内容が多様化する傾向があり、時間も要することなどから、速やかに次期の募集に充てるのが難しくなっている。 マンション管理無料相談会は年間6回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1回を中止したことなどから、相談件数が目標値に達しなかったものと考えられる。</p>									
今後の方向性									
<p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 耐震化が進んでいない分譲マンションや緊急輸送道路沿道の建築物等について、マンション管理組合や建物所有者等への働きかけを積極的に行い、意識啓発を図る。 市営住宅については、建て替えや他の公共施設との複合化も含めた将来的な方向性について検討する「所沢市営住宅等マネジメント計画」の策定に令和4年度から着手する。 令和4年度から開始する「管理計画認定制度」や「管理組合届出制度」、「新築マンション分譲事業者届出制度」について積極的な周知を行い、効果的かつ円滑な運用を図る。 管理組合に対する新たな支援策として、「マンション管理アドバイザー派遣制度」、「専門家団体による重点支援事業」を開始する。 令和3年度に実施した実態調査や「管理組合届出制度」によって把握した「要支援マンション」に対して、市の支援策の活用などを働き掛け、管理状況の改善を促す。</p>									
<p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 施策満足度の向上については、ニューノーマルの生活様式に対応した住環境の整備を推進するとともに、近年増加傾向にあるマンションの管理の適正化を図るための施策を進める。 市営住宅の管理を委託している埼玉県住宅供給公社と連携して修繕の内容や費用等を見直し、退去後の修繕を速やかに行うことにより入居戸数を増やす。併せて、市が直接修繕工事を発注するための予算を確保して入居可能戸数の増加を図る。 マンション管理無料相談会については、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響が予想されるが、管理組合に対して新しく開始する各種制度と併せて周知を図り、活用を促す。</p>									

SDGsへの貢献			
レ	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	レ	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
レ	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も	レ	17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R4.7.29	記入者職氏名	街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部街づくり計画担当参事 塩崎 雄 街づくり計画部建築指導担当参事 保坂 貞夫